

2月11日(土)

第2会場

16:50~18:20

国際会議室

デバイス患者の心電図を知る

【概要】

デバイスの機能がいくら進歩しても、それを使いこなすことができなければ意味が無い。デバイスの機能の急速な進歩とともに、デバイス患者の心電図を適切に判断することは、時に困難なものになっている。問題を認識し適切に対応するためには、デバイス患者の心電図を正しく判読する必要があるが、必ずしも容易なことではない。そのためには、デバイスの機能と設定について熟知する必要がある。研究発表の場としての日本不整脈学会学術集会とは別に、日本不整脈学会デバイス関連冬季大会が開催されるようになった目的の一つとして、デバイス治療の基本的知識を整理する機会を提供することが挙げられる。各演者にはデバイス患者の心電図判読に必要な知識を解説していただく。この企画がデバイス治療を行うすべての医療関係者にとって有益なものになることを期待している。

〔座長〕 中島 博 板橋中央総合病院循環器科・不整脈・心不全診療部  
石川 利之 横浜市立大学附属病院循環器内科

1. Repetitive non-reentrant VA synchrony (RNRVAS) の落とし穴  
産業医科大学循環器内科 ○河野 律子
2. デバイス患者の体表心電図を読む  
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科 ○須賀 幾
3. Farfield R wave sensingを知る  
板橋中央総合病院循環器科・不整脈・心不全診療部 ○中島 博
4. Pacemaker mediated tachycardiaを知る  
横浜市立大学附属病院循環器内科 ○石川 利之